
中古自動車販売業

自動車販売は平成18年来の不振が19年に入っても続いており、新車と中古自動車の双方共に下落が続いている。例年需要が上向く3月も前年比マイナスとなっている。19年4月以降は売上の減少幅がさらに拡大しているところもみられた。今後もユーザーのカーライフスタイルに変化が起きていることから、販売不振は続くと思われる。

業界の概要

中古自動車販売業は、新車販売は行わずに中古自動車販売を主業とする事業者（以下、中古自動車専門店）と新車販売を主としながら平行して中古自動車販売を行う事業者に分かれる。中古自動車専門店は、独自の店舗展開を行っているところと、ユーザーから車を直接に買い取るフランチャイズ・チェーンに加盟しているところがある。

新車と中古自動車を併売するのはメーカー系列の販売店や、外国車の並行輸入販売店、そして新車のリース販売とリースアップした中古自動車を販売するカーリース事業者などの業態がある。

中古自動車専門店の仕入ルートは、消費者からの直接買取、卸売などの同業者、中古自動車オークションからであるが、最近では中古自動車オークションからの仕入がほとんどを占めている。

最近の販売方法の特徴として、発達してきたインターネットの活用が盛んであり、メーカー、大手中古自動車販売会社、リース事業者、自動車専門誌などが中古自動車検索のサイトを展開し、ユーザーへの情報提供によって販売機会の獲得にしのぎを削るようになって

てきた。

大阪の地位

商業統計によると、大阪府の中古自動車小売業（中古自動車販売業）は、事業所数で平成9年728件（全国シェア4.4%）あり、その販売額は1,760億円（全国シェア5.1%）の規模であったが、16年には820件（全国シェア3.7%）、1,263億円（全国シェア3.8%）となっている。大阪の地位は僅かに低下している。

長期に販売低迷が続く大阪

中古自動車の販売台数は12年に初めて600万台を超え、以後、これを割り込むことなく620～630万台で推移している。

この間の全国と東京都について平成9年から16年までの動きをみると、全国では事業所数は増加し、販売高は微減の後ほぼ横ばい、東京都では事業所数は増加し、販売高は減少した後やや回復となっている。

これに対して大阪府では事業所数は増加しているものの販売高は一貫して減少傾向にある。1事業所あたり販売高を9年と比較すると、全国は28%減（2億1千万円→1億5千万円）、東京都が23%減（3億3千万円→2億5千万円）であるのに対して、大阪府は36%減（2億4千万円→1億5千万円）となり、その減少の著しさがわかる。また、1事業所あたり販売高を全国と比べると、9年には全国を15%上回っていたが16年には僅か2%ほど上回る水準にまで下落している。

最近の状況

ここ数年の全国の中古自動車市場は、17年頃までは普通車と軽乗用車は販売増加、小型車が減少傾向であったが、18年度には三車種ともに減少に転じた。景気の回復にもかかわらず、昨年から引き続き全般に不調

で、需要月である3月も対前年同月比で普通・小型車が二桁の減少となり、堅調であった軽自動車も減少した。4～5月も普通・小型車は引き続き回復せず対前年同月比でマイナスが続いている。一方、軽自動車は4～5月はプラスに転じた。

大阪では、全国よりも厳しい状況が続いており、5月期には普通・小型車を専門とする業者の中には対前年同月比30%減となったところもある。また零細などころでは売上のない月もあるとのことであった。全体として中古自動車販売は不振が続いている。

カーライフスタイルの変化が仕入・販売に影響

ユーザーの自動車に対する考え方に変化があり、それが仕入と販売に対して影響を与えている。

仕入への影響は、中古自動車の質の変化である。新車への乗り換え期間が長期化し、平均車齢が伸びたことで中古自動車市場に車歴が永く走行距離も長いものが増えたことである。平均車齢は、平成元年頃には4.6年程度であったが、16年には6.8年へと伸びた。このため良質の中古自動車の条件とされる初回車検前（新車登録から3年未満）で走行距離が短いもので、修復歴が無いものが少なくなった。このため価格は低くなり利幅も縮小した。

また、人気車種の減少と、スモール・カー（小型車、小型車の中でも特にリッターカーと呼ばれる排気量1000～1500ccクラスと軽自動車など）への購買のシフトも仕入に影響を与えている。以前は人気車と呼ばれるベストセラーカーや特定メーカーにこだわるユーザーなどがあり、これらの車種は、仕入れる側から即売れるほど付加価値が高かったが、最近のユーザーにはこのような流行に左右される様な購買行動が減少した

ため価格は下落している。その背景には、車をファッションとしてではなく、便利な移動手段とするカーライフスタイルへの変化がある。

スモール・カーへのシフトの背景は、車への志向の変化に加えて環境への配慮意識の高まりから、環境負荷が小さく経済性にも優れていることもあげられる。このため、中古自動車市場でもスモール・カーへのシフトが続いており、販売価格の低下と利幅の低下の影響が生じている。

販売方法が多様化し商圈も広域化

メーカー系販売店は中古自動車販売に力を入れており、大規模展示販売場を開設し、独自の保証制度を設けるなど、ブランド力を背景に消費者への信頼を高める方法で販売を行い、市場での勢力を拡大している。そのため中古自動車専門店への影響が増している。

リース会社はリースアップ車を中古自動車オークションで販売する一方で、小規模ながら店舗を構えて直販にも進出してきている。

大手の中古自動車買取専門店では、中古自動車オークションで販売する一方で、買取FCチェーン店網を活用して直販展開を進めている。この業者の中には、中古自動車検索性のコンピュータ端末を大学や大手企業の構内にある生協等の店頭を設置して顧客獲得を図っているところもある。

これら大手の展開の有力なビジネスツールとなっているのが、大規模店舗展開に加えてインターネットを活用した消費者向けの中古自動車検索性サービスや見積もり・受注システムである。ユーザーは、自宅などから欲しい中古自動車を、各中古自動車サイトを通じて全国から検索性を行い見つけることができる時代となっ

た。

一方、中小の中古自動車専門店では、自動車専門誌が運営する検索サイトを活用している。このサイトはメーカー系販売店も活用しており、ユーザーにとっては幅広い検索が可能となっている。

インターネットでは、同一車種について店舗間の比較が可能となるため、販売実現のためには厳しい価格設定が求められ、利幅の縮小を促進している。一方で、店舗の商圈も拡大している。これまで店舗の商圈は所在地を中心に通常半径 20～30 キロメートルの範囲といわれ、この範囲に折り込みチラシ広告の配布や道路沿いに目立つポップ広告を掲示して販売促進を行ってきた。これにインターネットが加わったことにより、商圈外からの顧客も現れるようになり、時には府域を超えた遠距離への販売も実現するようになってきている。専門家の中には広告チラシは一切おこなわずに、自動車専門誌への広告と専門誌が運営するインターネットサイトへの広告に特化した販売促進活動を行っているところもある。

今後の見通し

自動車全体の販売の落ち込みはライフスタイルの変化にあり、そのため自動車離れと軽自動車などのスモール・カーへのシフトが続き、販売の不振は続くと思われる。年度末に向けても売上の回復は困難とみられている。

良質な中古自動車を確保できないところやインターネットに対応できないところ、そして企業ブランドの信頼性の確保が難しいところは淘汰されていくとみられる。

(肥山 正秀)

中古自動車登録・販売台数

(単位:台、前年比は%)

	乗 用 車							
	普通車		小型車		軽乗用車		合計	
		前年比		前年比		前年比		前年比
平成10年	1,493,744	6.2	3,309,426	-8.8	1,111,282	10.1	5,914,452	-2.1
11年	1,551,703	3.9	3,127,783	-5.5	1,273,383	14.6	5,952,869	0.6
12年	1,742,786	12.3	3,050,087	-2.5	1,448,546	13.8	6,241,419	4.8
13年	1,830,588	5.0	2,913,775	-4.5	1,552,297	7.2	6,296,660	0.9
14年	1,861,694	1.7	2,744,604	-5.8	1,714,831	10.5	6,321,129	0.4
15年	1,910,017	2.6	2,640,456	-3.8	1,809,840	5.5	6,360,313	0.6
16年	1,984,562	3.9	2,524,764	-4.4	1,777,866	-1.8	6,287,192	-1.1
17年	2,002,563	0.9	2,460,410	-2.5	1,890,154	6.3	6,353,127	1.0
18年	1,959,739	-2.1	2,304,226	-6.3	2,033,569	7.6	6,297,534	-0.9
19年1月	120,807	-5.5	142,554	-8.7	149,177	3.9	412,538	-4.8
2月	155,476	-4.7	179,541	-8.9	169,988	0.1	505,005	-4.7
3月	241,785	-10.3	297,477	-13.2	291,094	-5.9	830,356	-8.1
4月	145,956	-5.8	170,302	-8.9	164,388	1.6	480,646	-5.1
5月	145,822	-2.8	170,753	-4.8	161,589	4.4	478,164	-1.2

資料：(社)日本自動車販売協会連合会、(社)全国軽自動車協会連合会